

やましんかわら版は
山新販売店と読者を結ぶ
ミニコミ誌です

やましんかわら版

発行部数 9万7,000部

毎月5日発行

新聞休刊日のため2月13日(月)付朝刊はお休みさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

今月の
いちばん
情報!!

全国的に高まる気運 同世代で繋がる“山形三十路式”



山形市の文翔館前にて、実行委員長の佐藤洋一郎さん(中央)と、事務局長の山川唯美さん(右)、広報部長の那須誉広さん(左)。

1946(昭和21)年に埼玉県で始まった成人式。その動きは全国に広がり、今では成人を祝う当たり前の行事となりました。近年、20歳という年齢ではなく、10歳の1/2成人式や、還暦から20年目の傘寿を祝う熟年成人式などが登場し、話題を呼んでいます。現在、山形県内でも“山形三十路式”を開催しようと、若者たちが動いています。それは一体どんなイベントなのでしょうか。実行委員長の佐藤洋一郎さんに聞いてみました。

Q. 山形三十路式を立ち上げるきっかけとは。

▶始まりは、ほんの小さな再会でした。大学卒業後、都内のワイン輸入商社にて数年働いた後、山形へリターン。JR山形駅前のワインを扱う飲食店にて従事しながら、自分でワインイベントを主催していた私は、そこで偶然に参加した同級生と再会したのです。20年ぶりでしたが、それだけに互いが大人になったことを本当にうれしく思いました。その同級生から、ある日突然「三十路式やらない?」と提案を受け、きっと楽しいイベントになると考えた私は、実現に向けて動くことにしたのです。

初めは山形市内の同級生同士、小規模でいいから集まることができればと思いスタートしました。しかし、インターネットを使って告知したところ、県内の至る所にいる三十路仲間より、予想をはるかに上回る反響があったのです。その後は、有志で実行委員を募ったり、綿密な式の計画を練ったり、昨年夏から本格的に動き出し、今は今月11日の本番を残すのみとなりました。

私もそうでしたが、成人式の頃は目立ちたい気

持ちでいっぱい、成人の意味なんて考えていなかつた人が多かった気がします。しかし、今回この三十路式を企画・運営する、また、参加希望者が増えるにあたり、意識が徐々に変わってきました。“30歳になった今だから、同じ年齢の者同士で集まる意義がある”。必ず成功させて、参加する皆さんにとって有意義なものにしよう、と。

Q. 有意義なものに、とは?

▶古い時代から成人を祝う風習があり、当時は立派な大人だったのかもしれません。しかし、私自身未熟だった10年前を振り返れば、にぎやかにお祝いただけで終わってしまった成人式。それも楽しい思い出です。ただ、会社で重要な役職に就いたり、結婚をして子どもを産んだりと、30歳になるまでいろんな社会経験を積み、ようやく20歳の時は見えなかった景色が見えるようになっているはず。だからこそ、成人式の当時とはまた違った目線で、三十路を祝えると思うのです。

この式で得られるもの。きっと、それは繋がりです。同世代の繋がりを広げることで、未来に対して何か有意義な関係が作れるのではないかという期待を持っています。社会的意味で大人になった今でこそ、何かやれるのではないか。山形三十路式は、そんな思いを込めたイベントなのです。

Q. 山形三十路式に期待することは。

▶今回の式典に“第一回”という言葉を加えました。それは、次に繋げて欲しいという願いがあるからです。そのため、今回の実行委員の中に来年30歳を迎えるスタッフを入れています。私たちは今回の三十路式で、県内の同世代の皆さんと横の繋がりを作り、次、また次の30歳がこの三十

路式を引き継いでいくことによって、山形の繋がりが横にも縦にも広がることを願っています。その先には、地域活性化やさまざまなチャンスがあり、またそうなっていくことで、三十路式が私たちを育ってくれた山形に貢献できるイベントになるとを考えています。そのためにも、30歳を迎える皆さんに、ぜひご参加いただけると幸いです。



左上／山形市長の佐藤孝弘さんとともに、山形市からの、そして山形県からの正式な後援をいただいたとのこと。

左下／山形三十路式の公式ボスター。5年後、10年後にも続く式典に。

右下／実行委員会メンバー。有志で募り、次年度を担うメンバーも。



お問い合わせ先: 0120-10-0000
E-mail: 30yamagata@gmail.com



第一回 山形三十路式

日時／2月11日(土) 13:00開式～16:00閉式
場所／山形国際ホテル 先着500名
問い合わせ先／30yamagata@gmail.com
<https://30yamagata.wixsite.com/30yamagata>



かわら版編集部

〒990-2323 山形市桜田東二丁目3-8-7
(ホームページ) <http://www.yamashinhanban.jp>
(メール) kawaraban@yamashinhanban.jp
読者お問い合わせ窓口
TEL.023-635-6111(山新販売内)

早起きすると
人生が変わる!!

収入アップと
健康増進の両立。

配達 スタッフ 募集

山形新聞朝刊を
各家庭に
届ける仕事です。
年齢・性別不問です。

最終面に掲載の販売店に
お問い合わせください。